



### 今月のトピック：【PTA代行サービス】

近畿日本ツーリストの新事業である PTA 業務の代行サービスが好評です。運動会や遠足など行事の企画や人材派遣、広報誌の作成など多岐にわたり代行します。忙しい保護者からは負担の軽減に喜ぶ声が多い一方で、学校に他人を送り込むことに否定的な見方もあります。賛否両論ある中、PTA の存在意義を問う試金石ともなりそうです。



### 才人の言葉

生きるとは何か  
感謝する

「平成の経営の神様」と呼ばれた稲盛和夫の言葉。人は一人では生きていけない。家族や友人、地域社会など自分を取り巻くあらゆるものに支えられて生きている。

水性の染みの中でも落ちにくいコーヒーや紅茶。まずは乾いた布で水分を吸い取ります。それでも色が残る場合は、漂白作用のある酢と消毒用エタノールを1対1で合わせたものを振りかけ、その上から乾いた布で繰り返したくと染みが少しずつ薄くなります。



### 振り向けばあそこにも「商売のヒント」 あそこにも ここにも

#### 今月の商売のヒント：【桃を拾え！】

ある有名な実業家が「一生懸命やれば何とかかなんと思っている人もいるけれど、成功の要因は運も大きく影響すると思う」と話していました。確かに経営者でもアスリートでも、ジャンルを問わず「成功」と「運」はワンセットで語られることが多いように思います。

「運の正体」には色々な言説がありますが、ホリエモンこと堀江貴文氏がおとぎ話の『桃太郎』をヒントにした持論はとてもユニーク



です。川上から大きな桃が流れてきても普通は気味が悪くて誰も拾わない。けれどおばあさんは桃を拾った。これは一種の異常行動である。しかも家に持ち帰り、そのあとの展開はご存知のとおり。

ではおばあさんは何を拾ったのか。流れてきた桃は何だったのか。つまり桃は「チャンス」の象徴で、おばあさんはチャンスを持った(つかんだ)というのがホリエモンの「桃太郎理論」です。おばあさんより川上で洗濯をしていた人もいたと思いますが、その人たちは桃を拾わなかった。「流れてきた大きな桃を拾う」という通常とは違う行動をしたおばあさんだけがチャンスをものにした、というホリエモンの解釈は「運」の本質を突いていると思いました。損得の感情よりも、ここ一番の大勝負や大胆な決断ができる人に運は味方するといわれます。運はやはり通常とは違う行動をする人がお好みなのかもしれません。新たな可能性を感じつつも、変化に伴うリスクに尻込みしたり、変化自体が面倒だったりして結局、チャンスを逃してしまうことがあります。今まで一生懸命やってきて、もし行き詰まりを感じているのなら、今年は通常とは違う独自の発想で開運を願いたいものです。

### トナリの本棚

#### 【バナナの魅力を100文字で】

企画した書籍の発行部数が1000万部を超えるベストセラー編集者・柿内尚文の本です。「伝える」と「伝わる」ことは違う。使える技術が満載の一冊です。



#### 船越税理士法人

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: [info@f-office301.com](mailto:info@f-office301.com)

皆様のご感想をお待ちしております☺☺☺☺☺☺